

島根県競技力向上対策本部 第2回本部会議次第

令和3年11月15日(月)
13:30～15:00
サンラポーむらくも瑞雲の間

1. 開 会

2. あいさつ 本部長(島根県副知事 松尾紳次)

3. 報告事項

- (1) 本部委員の変更・・・・・・・・・・・・・資料1
- (2) 島根県競技力向上対策本部事務局規程・・・・・・・・・・・・・資料2
- (3) 各種大会の成績
 - ①令和3年度全国中学校体育大会・・・・・・・・・・・・・資料3
 - ②令和3年度全国高校総合体育大会・・・・・・・・・・・・・資料3
 - ③第76回国民体育大会中国ブロック大会・・・・・・・・・・・・・資料4

4. 協議事項

今後の競技力向上対策事業の展開・・・・・・・・・・・・・資料5

[参考資料]

- ・島根県選手強化対策委員会(第1回・第2回)の概要・・・・・・・・・・・・・資料6
- ・各競技団体別長期競技力向上計画(例示:陸上競技)・・・・・・・・・・・・・資料7
- ・準備スケジュール・・・・・・・・・・・・・資料8

5. あいさつ 副本部長(公益財団法人島根県体育協会理事長 田部 長右衛門)

6. 閉 会

第2回 島根県競技力向上対策本部会議 出席者名簿

敬称略 順不同

役 職	氏 名	参加	備考
島根県副知事	松 尾 紳 次	出席	
島根県環境生活部長	竹 内 俊 勝	〃	
島根県市長会長	久 保 田 章 市	欠席	代理出席 松江市長 上定 昭仁
島根県町村会長	下 森 博 之	〃	
島根県教育委員会教育長	野 津 建 二	〃	代理出席 副教育長 石原 恵利子
島根県市町村教育委員会連合会会長	杉 谷 学	〃	
島根県商工会議所連合会幹事長	松 浦 俊 彦	出席	
島根県商工会連合会会長	高 橋 日 出 男	〃	
島根県中小企業団体中央会会長	杉 谷 雅 祥	〃	
公益財団法人島根県体育協会理事長	田 部 長 右 衛 門	〃	
公益財団法人島根県体育協会専務理事	安 井 克 久	〃	
公益財団法人島根県体育協会スポーツ医・科学委員長	伊 達 伸 也	〃	
株式会社山陰合同銀行執行役員人事部長	金 谷 智 文	〃	
株式会社中筋組代表取締役社長	中 筋 豊 通	〃	
島根県小学校長会長	越 野 和 胤	〃	
島根県中学校体育連盟会長	安 達 正 治	〃	
島根県高等学校体育連盟会長	宇 津 誠	欠席	代理出席 理事長 山中 清恵
島根県立大学副学長	岸 本 強	〃	
オリンピック（東洋大学教授）	土 江 寛 裕	〃	

島根県競技力向上対策本部 委員の変更

区分	役職等	旧	新
市町村関係	島根県市長会長	松浦 正敬	久保田 章市
教育関係	島根県教員委員会教育長	新田 英夫	野津 建二
産業・ 経済関係	島根県商工会連合会会長	石飛 善和	高橋 日出男
企業スポーツ	株式会社山陰合同銀行	代表取締役専務執行役員 清田 睦人	執行役員人事部長 金谷 智文
学校関係	島根県小学校長会長	中村 次郎	越野 和胤
	島根県中学校体育連盟会長	古藤 浩夫	安達 正治
	島根県高等学校体育連盟会長	吾郷 信博	宇津 誠

島根県競技力向上対策本部事務局規程

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、島根県競技力向上対策本部規約第14条第2項の規定に基づき、島根県競技力向上対策本部（以下「本部」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2章 事務局

(設置)

第2条 事務局は、島根県環境生活部スポーツ振興課内に置く。

(業務)

第3条 事務局は、本部の業務に関する事務を処理する。

(職及び職務)

第4条 事務局に、次表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
事務局長	本部長の命を受け、職員を指揮監督し、事務局の事務を総括する。
事務局次長	事務局長を補佐し、事務局長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
事務局次長補佐	事務局次長を補佐し、事務局次長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
事務局員	上司の命を受け、本部の事務を処理する。

- 2 事務局長は、島根県環境生活部スポーツ振興監をもって充てる。
- 3 事務局次長は、島根県環境生活部スポーツ振興課長をもって充てる。
- 4 事務局次長補佐は、島根県環境生活部スポーツ振興課国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室長をもって充てる。
- 5 事務局員は、島根県環境生活部スポーツ振興課の職員をもって充てる。
- 6 本部長は、特に必要があると認められるときは、期限を定めて臨時に職員を任用することが出来る。この場合の任用手続き及び期間は、島根県の例による。
- 7 本部の現金の出納及び保管等に関する事務を処理するため、出納員を置き、事務局次長をもって充てる。

第3章 事務処理

(事務局長の専決事項)

第5条 事務局長は、別表第1に掲げる事項を専決することができる。

- 2 前項の規定に定めのないものであっても、その内容により専決することが適当であると認められるものについては、前項の規定に準じて専決することができる。
- 3 事務局長は、必要があると認められるものについては、その専決した事項を遅延なく

本部長に報告しなければならない。

(代決)

第6条 本部長が不在のときは事務局長がその事務を代決することができる。

2 前項の規定にかかわらず、あらかじめ代決することを禁止した事項、重要な事項又は本部長の判断が必要と認められる事項については、代決することができない。

第4章 文書の取扱い

(記号及び番号)

第7条 事務局の文書には、記号及び番号を付するものとする。ただし、軽易な文書については、これを省略することができる。

2 文書番号は「島競向上」とする。

(文書の保管及び保存)

第8条 施行の手続きを終了した文書は、事務局において保管し、事務局長が指示する指定する日まで保存しなければならない。

(準用)

第9条 前条に定めるもののほか、文書の取扱いについては、島根県の例による。

第5章 公印

(公印)

第10条 事務局で使用する公印の種類は、別表第2のとおりとする。

2 前項に定める者のほか、公印の取扱いについては、島根県の例による。

第6章 服務及び旅費

(服務)

第11条 職員の服務については、島根県職員の例による。

(旅費)

第12条 職員に支給する旅費については、島根県職員の例による。

(費用弁償)

第13条 委員及び役員が旅行したときには、その費用について弁償することができる。

2 前項において支給される費用弁償の額及び支給方法については、島根県の例による。

第7章 補則

(補則)

第14条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、令和3年3月5日から施行する。

別表第1（第5条関係）

<p>1 事務局長の専決事項</p> <p>(1) 事業計画に基づく各種事項の実施に関する事。</p> <p>(2) 本部会議の運営に関する事。</p> <p>(3) 選手強化対策委員会の運営に関する事。</p> <p>(4) 事務局の組織及び運営に関する事。</p> <p>(5) 事務局員の委嘱または任命に関する事。</p> <p>(6) 事務局員の事務分掌に関する事。</p> <p>(7) 事務局員の服務に関する事。</p> <p>(8) 事務局員の旅行命令及び復命の受理並びに職員以外の旅行依頼に関する事。</p> <p>(9) 臨時職員の任用に関する事。</p> <p>(10) 本部長名をもってする簡易または定例に属する通知・報告・届出等の処理に関する事。</p> <p>(11) 収入に関する事。</p> <p>(12) 支出負担行為、支出命令に関する事。</p> <p>(13) 予算の流用に関する事。</p> <p>(14) この規程の軽微な改正に関する事。</p>

別表第2（第10条関係）

公印の種類	ひな形	寸法	書体	公印管守者
本部長印		27 ミリメートル平方	てん書	事務局長
委員長印		24 ミリメートル平方	てん書	事務局長
事務局長印		24 ミリメートル平方	てん書	事務局長

令和3年度 全国中学校体育大会等入賞一覧

- 開催地 関東ブロック(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、山梨県)
- 開催期間 令和3年8月17日(火)～8月26日(木)

No.	競技名	選手名(学年)	学校名	性別	種目	順位
1	陸上	別所 みゆ(3)	出雲市立大社中学校	女	100mハードル	4位
2	ホッケー	奥出雲町立横田中学校		男	団体	5位
3				女	団体	2位
4	バスケットボール	松徳学院中学校		女	団体	5位
5	卓球	松徳学院中学校		男	団体	3位
6		小野 泰和(3)	出雲北陵中学校	男	シングルス	5位
7		益田市立益田中学校		女	団体	3位
8	軟式野球	大田市立第二中学校		男	団体	1位
9	柔道	福田 さくら(3)	松江市立第二中学校	女	57kg級	3位
10		永田 理穂(3)	松江市立美保関中学校	女	63kg級	5位
11	バドミントン	森山 由惺(3)	松江市立湖南中学校	男	シングルス	5位
12		長廻 優茉(3)	出雲市立浜山中学校	女	シングルス	5位

○ 近年の全国中学校体育大会等の入賞状況

年度	全国中学校体育大会等	開催地
R3	12	関東ブロック(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、山梨県)
R2		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
R元	9	近畿ブロック(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)
H30	7	中国ブロック(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)
H29	7	九州ブロック(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)
H28	7	北信越ブロック(長野県、福井県、富山県、石川県、新潟県)

令和3年度 全国高等学校総合体育大会入賞一覧

○ 開催地 北信越地区(福井県、新潟県、富山県、石川県、長野県) ※ヨット競技は和歌山県開催

○ 開催期間 令和3年7月24日(土)～8月24日(火)

No.	競技名	選手名(学年)	学校名	性別	種目	順位
1	陸上	永岡 勇次郎(3)	大社高校	男	三段跳	5位
2		土江 真翔(2)	大社高校	男	棒高跳	8位
3	ホッケー	横田高校		男	団体	1位
4	卓球	原田哲多(3)・杉浦大和(2)	出雲北陵高校	男	ダブルス	5位
5		明誠高校		女	団体	5位
6		山崎唯愛(2)・直江杏(2)	明誠高校	女	ダブルス	5位
7	フェンシング	安来高校		男	団体	5位
8		安来高校		女	団体	5位
9	柔道	田窪 剛共(1)	開星高校	男	個人 60kg級	5位
10		福田 大和(3)	平田高校	男	個人 66kg級	2位
11		小幡 心里(2)	出雲西高校	女	個人 57kg級	5位
12	カヌー	行田 朋晃(3)	島根中央高校	男	カヤックシングル200m	5位
13					カヤックシングル500m	4位
14		齋藤哲一(3)・小鍵亮太(3)	島根中央高校	男	カヤックペア200m	2位
15					カヤックペア500m	2位
16		小鍵亮太(3)・齋藤哲一(3) 大見省吾(2)・行田朋晃(3)	島根中央高校	男	カヤックフォア200m	1位
17					カヤックフォア500m	2位
18		土井 翔喜(3)	出雲農林高校	男	カナディアンシングル200m	8位
19					カナディアンシングル500m	8位
20		土井翔喜(3)・原瑛太郎(3) 片伊勢志哉(2)・漆谷海里(2)	出雲農林高校	男	カナディアンフォア500m	5位
21		三島 まりあ(2)	出雲農林高校	女	カヤックシングル500m	7位
22		三島まりあ(2)・橋本寧々(2)	出雲農林高校	女	カヤックペア200m	2位
23					カヤックペア500m	1位
24		橋本茉音(3)・松岡華加(3) 山根陽菜子(3)・和泉凜音(2)	島根中央高校	女	カヤックフォア200m	3位
25					カヤックフォア500m	2位
26		なぎなた	高野 杏夏(2)	出雲北陵高校	女	個人 試合

○ 近年の全国高校総体の入賞状況

年度	全国高校総体	開催地
R3	26	北信越地区(福井県、新潟県、富山県、石川県、長野県) ※ヨット競技は和歌山県開催
R2		新型コロナウイルス感染症の影響により中止
R元	20	南部九州地区(鹿児島県、熊本県、宮崎県、沖縄県) ※ヨット競技は和歌山県開催
H30	12	東海地区(三重県、岐阜県、静岡県、愛知県) ※ヨット競技は和歌山県開催
H29	12	南東北(山形県、宮城県、福島県) ※ヨット競技は和歌山県開催
H28	27	中国ブロック(島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県) ※ヨット競技は和歌山県開催

第76回国民体育大会中国ブロック大会の成績

【本大会出場種目（正式競技）】

※ 網掛けしていない競技種目：島根県が本大会への出場権利を獲得
各県欄の数字：中国ブロック大会の順位、○数字の場合は中国ブロック突破

NO	競技名	種別（種目）	全国枠	ブロック数	島根	鳥取	岡山	広島	山口
1	陸上	全種別	県単	出場	県単出場				
2	水泳	全種別競泳	県単	出場	県単出場				
		全種別飛込	県単	出場	県単出場				
		全種別オープンウォーター	県単	出場	県単出場				
		少年男子水球	16	2	5	②	3	4	①
		少年女子アーティスティックスイミング	20	中・四	3	不参加	不参加	③	①/高知②
3	サッカー	成年男子	16	1	①	4	2	3	5
		成年女子	16	1	2	5	3	①	4
		少年男子	24	3	5	①	③	②	4
4	テニス	成年男子	32	4	5	④	①	③	②
		成年女子	32	2	①	5	②	3	4
		少年男子	県単	出場	県単出場				
5	ボート	成年男子舵手つきフォア	20	2	3	②	5	4	①
		成年男子ダブルスカル	県単	出場	県単出場				
		成年男子シングルスカル	20	3	5	③	①	4	②
		成年女子舵手つきクォーツフル	20	2	除外	①	②	3	4
		成年女子ダブルスカル	15	1	2	①	3	4	不参加
		成年女子シングルスカル	20	2	②	①	3	4	5
		少年男子舵手つきクォーツフル	20	2	4	②	①	3	5
		少年男子ダブルスカル	20	2	4	3	①	5	②
		少年男子シングルスカル	20	2	3	②	①	4	5
		少年女子舵手つきクォーツフル	20	2	3	②	①	4	不参加
6	ホッケー	成年男子	10	1					
		成年女子	10	1					
		少年男子	10	1					
		少年女子	10	1					
7	ボクシング	成年男子	24	2					
		成年女子	16	1					
		少年男子	24	2					
8	バレーボール	6人制競技	成年男子	16	1				
			成年女子	16	1				
			少年男子	24	2				
			少年女子	24	2				
		ビーチバレーボール	少年男子	県単	出場	県単出場			
9	体操	成年男子競技	13	1	4	3	①	2	不参加
		成年女子競技	10	1	不参加	3	①	2	4
		少年男子競技	29	4	③	5	①	②	④
		少年女子競技	29	3	③	4	②	①	5
		新体操	28	2	②	4	①	5	3
		男子共通トランポリン	18	1	不参加	①	2	不参加	不参加
		女子共通トランポリン	18	1	不参加	①	3	2	不参加
10	バスケットボール	成年男子	16	2					
		成年女子	16	2					
		少年男子	24	2					
		少年女子	24	2					
11	レスリング	成年男子	県単	出場	県単出場				
		成年女子	県単	出場	県単出場				
		少年男子	県単	出場	県単出場				
12	セーリング	成年男子	県単	出場	県単出場				
		成年女子	県単	出場	県単出場				
		少年男子	県単	出場	県単出場				
13	ウエイトリフティング	成年男子	163	0 ~ 2	2	4	1	3	5
		少年男子	県単	出場	県単出場				

NO	競技名	種別(種目)		全国枠		代表数	島根	鳥取	岡山	広島	山口
				全	国						
14	ハンドボール	成年男子	子	19	2	中止					
		成年女子	子	16	1						
		少年男子	子	16	1						
		少年女子	子	19	2						
15	自転車	成年男子	子	県単出場		県単出場					
		成年女子	子	県単出場		県単出場					
		少年男子	子	県単出場		県単出場					
16	ソフトテニス	成年男子	子	24	2	3	5	4	②	①	
		成年女子	子	16	2	5	4	②	①	3	
		少年男子	子	県単出場		県単出場					
		少年女子	子	21	2	5	3	②	①	4	
17	卓球	成年男子	子	16	2	②	5	4	②	3	①
		成年女子	子	32	3	③	5	②	①	4	
		少年男子	子	県単出場		県単出場					
		少年女子	子	20	2	3	②	①	4	5	
18	軟式野球	成年男子	子	32	3	①	5	③	②	4	
19	相撲	成年男子	子	県単出場		県単出場					
		少年男子	子	県単出場		県単出場					
20	馬術	成年男子	子	選手 245 180	選手 26 18	5	4	1	2	3	
		成年女子	子								
21	フェンシング	成年男子	子	県単出場		県単出場					
		成年女子	子	18	1	2	4	3	不参加	①	
		少年男子	子	18	1	①	4	2	5	3	
22	柔道	少年女子	子	18	2	①	3	4	5	②	
		成年男子	子	18	1	中止					
		少年男子	子	22	2	中止					
23	ソフトボール	成年男子	子	13	2	4	3	①	②	5	
		成年女子	子	13	1	不参加	2	3	①	3	
		少年男子	子	13	1	3	3	①	2	5	
		少年女子	子	13	1	3	3	2	①	5	
24	バドミントン	成年男子	子	16	2	中止					
		成年女子	子	32	3	中止					
		少年男子	子	県単出場		県単出場					
		少年女子	子	16	2	中止					
25	弓道	成年男子	子	24	2	5	4	①	②	3	
		成年女子	子	24	3	4	①	5	③	②	
		少年男子	子	19	2	5	①	4	3	②	
		少年女子	子	19	2	4	3	4	②	①	
26	ライフル射撃	成年男子	FR3×40	22	2	不参加	不参加	①	3	②	
			FR60PR・FR20K	29	3	4	③	5	①	②	
			AR60・AR60PR	県単出場		県単出場					
		成年女子	AP60	16	2	4	①	②	3	5	
			CFP60・CFP30	県単出場		県単出場					
			R3×40・R60PR	22	2	①	不参加	不参加	3	②	
		少年男子	AR60W・AR60PRW	29	3	4	不参加	②	③	①	
			AP60W	16	1	5	4	①	2	3	
			AR60J	30	3	①	③	不参加	②	4	
		少年女子	BR60J・BR30J	22	2	①	②	3	5	4	
BP60J	16		1	4	2	5	①	3			
AR60WJ	県単出場		県単出場								
27	剣道	成年男子	子	県単出場		県単出場					
		成年女子	子	16	1	5	4	①	2	3	
		少年男子	子	16	1	2	5	①	4	3	
		少年女子	子	16	1	2	5	①	4	3	
28	ラグビーフットボール	成年男子	子	16	1	中止					
		少年男子	子	15	1	中止					
29	スポーツクライミング	成年男子	子	県単出場		県単出場					
		成年女子	子	18	2	5	②	4	3	①	
		少年男子	子	20	2	5	②	4	3	①	
29	スポーツクライミング	少年女子	子	18	1	5	4	2	3	①	

NO	競技名	種別(種目)	全国枠	ブロック数	島根	鳥取	岡山	広島	山口	
30	カヌー	成年男子	スプリントK-1	24	2	3	4	②	①	不参加
			スプリントC-1	24	2	①	4	不参加	3	②
			スラロームK-1	24	2	不参加	②	3	不参加	①
			スラロームC-1	10	1	不参加	不参加	3	2	①
		成年女子	ワイルドK-1	10	1	不参加	不参加	①	不参加	2
			スプリントK-1	19	2	①	不参加	3	②	不参加
			スプリントC-1	10	1	不参加	不参加	不参加	①	不参加
			スラロームK-1	19	2	不参加	不参加	②	不参加	①
		少年男子	スラロームC-1	10	1	不参加	①	不参加	不参加	不参加
			ワイルドK-1	10	1	不参加	①	2	不参加	不参加
			スプリントK-1	29	3	①	②	4	不参加	③
			スプリントK-2	12	1	①	2	3	不参加	4
		少年女子	スプリントK-4	12	1	①	4	2	3	不参加
			スプリントC-1	26	3	①	③	②	不参加	4
スプリントC-2	12		1	①	4	失格	3	2		
スプリントK-1	24		2	①	②	5	3	4		
31	アーチェリー	成年男子	24	2	5	4	②	①	3	
		成年女子	24	3	5	③	②	①	4	
		少年男子	14	1	5	4	3	①	2	
		少年女子	14	1	5	3	4	2	①	
32	空手道	成年男子	組手	県単出場		県単出場				
			形	31	3	②,8	7	4,6	①,9	③,5
		成年女子	組手	県単出場		県単出場				
			形	31	2	①	不参加	②,3	4,5	6,6
		少年男子	組手	県単出場		県単出場				
			形	31	2	7,8	9,10	①,6	3,4	②,5
		少年女子	組手	県単出場		県単出場				
			形	31	2	9	7,8	3,5	②,6	①,4
33	クレ射撃	トラット	県単出場		県単出場					
		スキート	県単出場		県単出場					
34	なぎなた	成年女子	県単出場		県単出場					
		少年女子		試合	32	3	①	5	②	4
35	ボウリング	成年男子	28	3	4	5	②	①	③	
		成年女子	24	3	4	不参加	②	①	③	
		少年男子	24	2	4	5	3	②	①	
		少年女子	23	2	不参加	不参加	①	3	②	
36	ゴルフ	成年男子	県単出場		県単出場					
		少年男子	28	3	③	4	①	5	②	
37	トライアスロン	成年男子	県単出場		県単出場					
		成年女子	県単出場		県単出場					
ブロック大会突破種目数					30	31	44	32	36	

【過去の成績】

項目	H29	H30	R元	R2	R3
ブロック大会突破数	27種目	32種目	36種目	大会中止	30種目
国体出場者数	291名	249名	304名		大会中止
国体入賞種目数	31種目	22種目	34種目		
獲得得点数	806.0	533.0	725.0		
順位	38位	46位	40位		

※中止27種目

今後の競技力向上対策事業の展開

島根県競技力向上基本計画			競技団体ヒアリングによる課題 (6月～7月実施)	事業展開			
区分 4つの柱	方向性	具体的な取組		事業名	概要		
1 組織・体制 充実の	競技力向上を効果的に進めるために必要な組織の整備・充実と関係諸団体との連携強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の整備への支援 競技団体の強化計画策定支援及び定期的な事業評価 関係団体等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 核となる組織の強いリーダーが必要である。 先催県等に出かけ組織づくりの構築に関する情報を収集し組織力向上を図る必要がある。 競技役員や審判員等を育成するには長期間を要するため計画的に進める必要がある。 アドバイザー等を招聘し組織体制強化に取り組む必要がある。 	競技力向上推進体制支援	各競技団体が競技力向上計画の検証・評価の検討会を開催したり、先催県等が行う競技力向上対策事業についての視察や中央競技団体の講習会に参加する。		
2 選手の発掘・育成・強化	第84回国民スポーツ大会で主力となる少年選手の発掘・育成・強化と成年選手の確保・強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 選手・チームの強化指定 	<ul style="list-style-type: none"> ジュニア育成プランの構築と総合的な強化策を組み立てる必要がある。特に社会体育として活動するクラブや教室を強化指定し強化を推進する必要がある。 県外の強豪チームやトップ選手との試合や合同練習会に参加し、技術の向上や練習方法を学ぶ必要がある。 優秀な選手を確保するための制度等が必要である。(受け皿) 県外の優秀な指導者にアドバイザーとして継続した指導により競技力を向上させる必要がある。 	国体強化指定アスリート	多くの選手が国体で入賞するために、国体強化選手を指定して県外遠征等を実施する。		
		<ul style="list-style-type: none"> ふるさと選手への支援 		<ul style="list-style-type: none"> ふるさとアスリート支援 	多くの選手が国体で入賞するために、国体強化選手を指定して県外遠征等を実施する。		
		<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーコーチの活用(指導者) 		<ul style="list-style-type: none"> アドバイザーコーチ招請 	県内に優れた指導力を持つ指導者がいない競技団体等が、県外の優秀指導者をアドバイザーとして招き、定期的に県内選手を指導する。		
		<ul style="list-style-type: none"> 中学生・高校生アスリートの育成と強化 合同練習会等の実施 魅力ある練習環境づくり 女子選手の発掘・育成・強化 		<ul style="list-style-type: none"> 世界を目指すアスリート支援 	国際大会で活躍できる選手を育成するため、全国トップレベルの実力を有する選手及びその指導者が県外遠征を実施する。		
		<ul style="list-style-type: none"> クラブアスリートの育成と強化 選手強化に関する部活動と社会体育の協働 		<ul style="list-style-type: none"> 高校生重点校等アスリート支援 	高校生の競技力向上を目的として、県内有力校を重点校として指定し、県外遠征や県外の強豪校等を招請する。また、R7年度に中国ブロックで開催予定の全国高校総体に向けた強化を行い、将来の成年選手の競技力向上を図る。		
		<ul style="list-style-type: none"> ジュニアアスリートの発掘 		<ul style="list-style-type: none"> ジュニアアスリート強化 	小中学生(ジュニア)の競技力向上を目的として、県内の優秀選手を選抜して県外遠征等を実施する。特に中国ブロックで開催予定のR7年度全国高校総体やR8年度全国中学校総体に向けた強化を行い、将来の少年選手の競技力向上へとつなげる。また、国体で入賞する競技数を増やすため、社会体育として選手強化行われている競技を指定し競技力向上を図る。		
		<ul style="list-style-type: none"> 企業への協力依頼と支援 高専・大学における運動部活動の活性化に向けた支援 女性アスリートの支援 		<ul style="list-style-type: none"> 国体強化指定アスリート合同研修会 社会体育の強化(社会活動支援) チャイルドアクティブプログラム スポーツ教室開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> 将来ふるさと選手として国体へ出場する選手を増やすため、国体選手としての自覚や意識を高めるための、国体強化指定選手(少年)の合同研修会を実施する。 国体で入賞する競技数を増やすため、社会体育の場で選手強化が行われている競技(中学校の部活動で普及していない競技)の、ジュニア選手に対して県外遠征や強化練習会等を実施する。 未就学児や小学生の運動の興味付けや習慣化をめざした講習会を実施する。 将来の国体候補選手となる競技者を増やすために、各競技団体が普及を目的とした教室を実施する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 企業・大学・クラブ支援 女性アスリート支援 		<ul style="list-style-type: none"> 企業・大学・クラブ支援 女性アスリート支援 	<ul style="list-style-type: none"> 大学・企業あげて選手強化に取り組む競技や成年クラブチームを強化指定し競技力向上を図る。 女性アスリートの活動をサポートする。 企業スポーツの設立、選手雇用や支援協力を依頼する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 指導者の養成及び資質の向上や一貫指導体制の構築など、計画的・継続的な指導体制の確立を目指します。 		<ul style="list-style-type: none"> 2030年に向けた優秀な指導者を確保し指導体制を整える必要がある。 全国を代表する指導者となるよう多くの研修会や視察等に出かけ育成する必要がある。 他競技の指導者や日本を代表するスポーツ関係者を招き、指導者の意識改革や指導力の向上に役立つ講習会等を開催する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の養成及び資質の向上や一貫指導体制の構築など、計画的・継続的な指導体制の確立を目指します。 資格取得の促進 学校部活動での指導者の重点配置と地域スポーツ指導者の協力 	<ul style="list-style-type: none"> 競技団体別指導者養成 トップコーチ育成支援 コーチ資格取得支援 運動部活動地域指導者派遣 地域指導者養成 教職員の長期配置と適材配置 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の資質向上のために、各競技団体が県外優秀指導者を講師として招いた県内研修会を実施する。 各競技の強化の中心となる指導者の更なる指導力向上や、日本トップレベルの戦術やトレーニング方法などを学ぶことを目的とした、県外研修等を実施する。 日本スポーツ協会や中央競技団体が公認する、指導者や審判員の資格取得を図る。 県内中学校、高等学校の運動部活動において、指導力の高い地域指導者を派遣して指導体制の充実を図る。 新たな指導者を確保、育成するために、県内の優秀な指導者の下で指導理論を学んだり、指導実績を積んだりして、指導力の向上を図る。 重点校等に対する教職員の長期的配置や専門性の高い教職員の配置など、長期的な展望に立った指導者の配置について関係部局と検討中である。また、私立高校等における雇用の促進を図る。
		<ul style="list-style-type: none"> 競技用具の整備 			<ul style="list-style-type: none"> 競技力向上を円滑に進めるために、練習環境の整備や選手のサポート体制の充実を図るとともに、積極的な広報活動に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 競技用具の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 競技用具整備
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ医科学分野におけるサポーターの養成 マルチサポート体制の充実 スポーツテクノロジーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用創出 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ医科学分野におけるサポーターの養成 マルチサポート体制の充実 スポーツテクノロジーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> オール島根マルチサポート 国体チームサポーター派遣 		<ul style="list-style-type: none"> スポーツ医科学の分野で専門的知識や技術を持ったスタッフを、練習や大会へ派遣する。医科学的指標に基づいて選手の身体能力等を評価して、日ごろのトレーニング効果を計る。 選手がより良いコンディションで大会に臨めるように、国体やブロック大会へ支援コーチやトレーナーを派遣する。 		
<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の利用改善 選手・指導者が活動しやすい雰囲気づくりとサポート体制の整備 補償体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用創出 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の利用改善 選手・指導者が活動しやすい雰囲気づくりとサポート体制の整備 補償体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 協力企業等開拓 		<ul style="list-style-type: none"> 成年選手の競技力向上及び大会後も本県スポーツ振興に貢献する人材の確保を目的に、優秀な成年選手や指導者が働きながら競技スポーツを続けることに協力できる企業等を確保する。 		
			<ul style="list-style-type: none"> 会場決定に伴う練習会場の利用方法や県外の練習会場確保支援策等について関係機関と検討中 				

島根県競技力向上対策本部 選手強化対策委員会（第1回・第2回）の概要

1. 第1回選手強化対策委員会（R3, 5, 18 くにびきメッセ）

- (1) 島根県競技力向上基本計画の報告
- (2) 令和3年度競技力向上対策事業の報告
- (3) 第84回国民スポーツ大会競技会場地市町第一選定の報告
- (4) 2030年第84回国民スポーツ大会に向けた競技力向上対策（案）の協議

ご意見

①組織体制の整備・充実

- ・県が競技団体に入り込んで情報収集や要望を聞き、施策に反映させる。
- ・脆弱な競技団体へ優秀な指導者が入って指導する。
- ・41競技団体を2～3グループに分けて具体的な話を進めていくことが必要である。

②選手の発掘・育成・強化

- ・学校指定、企業指定だけでなく個人指定をして強化をしていくことが必要である。
- ・優秀な選手の指定だけでなく、育てる視点での指定を考えたらどうか。
- ・重点校に加えて育成校の設置が必要である。
- ・中学校も指定制度を導入して指導者を配置、あるいはクラブを指定する。
- ・中学校に部活動がないと継続した強化に結び付かない。
- ・中学、高校に部活動のない競技の強化をどう進めていくのか。
- ・強化のためにはジュニアの育成がカギである。
- ・指定選手の委嘱状交付を一同に会して実施し、意識の高揚を図る必要がある。
- ・成年選手の受け皿づくりに早くから取り組む必要がある。
- ・優秀な選手が県内に帰れるように受け皿づくりが必要である。

③指導者の養成・資質の向上

- ・教員の働き改革と部活動のあり方を競技力向上の視点で整理する必要がある。
- ・社会体育に移行しても指導の中心は教員である。そのフォローがきちんとできるかがカギである。
- ・優秀な指導者を早く確保する。島根は企業が少ないので教員で確保すべきである。
- ・強化のためには指導者の確保が一番カギである。
- ・優秀な実績を持つ選手を採用できる仕組みづくりが必要である。
- ・教員の異動ルールの見直しが必要である。
- ・地域に根差した競技の発展には、中学校の異動ルールを見直し、指導者がいなくならないようにさせる。
- ・腰を据えて指導できる体制が必要。成績不振の場合は、外すなどメリハリをつける。
- ・他競技の指導者との多様なセミナーが含まれる研修会を開催してほしい。
- ・合銀バドを引退した選手が、ジュニア指導に携われるか模索している。

④環境整備

- ・地元で育ったトップアスリートが選手や指導者として地元に戻ってこられるようなサイクルをつくる。
- ・デジタル化やIT化して選手の指導や体調管理などが出来るようなことを考えてほしい。
- ・大学をうまく活用できるようなシステムづくりができるとうい。

2. 第2回選手強化対策委員会（R3, 9, 3 サンラポーむらくも）

(1) 令和3年度各種大会成績の報告

(2) 今後の競技力向上対策事業（案）について協議

- ①第1回選手強化対策委員会の意見を反映
- ②各競技団体別長期競技力向上計画をふまえて
- ③令和3年度競技団体ヒアリング総合評価と今後の進め方
- ④2030年国スポに向けた教職員の採用及び指導者の適正配置

ご意見

①選手の発掘・育成・強化

- ・中学校の部活動は令和5年度から土日の活動は地域に移行する。将来的にはすべて社会体育に移行することが国の方針として決定済み。
- ・国スポの選手強化と部活動のありかたのバランスのとり方が難しい。

②環境整備

- ・指導者の確保について他県に勝る条件面での提示はできないか。
- ・競技力の高い選手の受け皿整備が必要である。
- ・一芸に秀でた教員の採用はできないか。
- ・今後の選手強化対策等の方針は競技団体に対してどのように伝わっていくのか具体を示さないと競技団体も前に進まない。
- ・大手といわれる企業が30社程度ある。企業を招いて指導者や選手を確保や協力要請の説明会を開催することが必要である。
- ・他県では科学的根拠に基づいたトレーニング実践や医科学センター設置が進む。島根県で新たに設置することは難しいと思うが、既存の施設を活用しながら県民に広く活用で切るようなネット環境も考えながら進められないか。
- ・中学校の部活動は令和5年度から土日の活動は地域に移行する。将来的にはすべて社会体育に移行することが国の方針として決定済み。国スポの選手強化と部活動のありかのバランスのとり方が難しい。
- ・本県の高校を卒業し他県のチームで活躍しているが、チーム事情や雇用状況によりふるさと選手として島根県代表として出場することが難しくなっている。今後県内企業で協力支援していただける企業の確保や指導者・選手とつなぐ機会を提供する必要がある。
- ・すべての競技でトレーナー資格を取得して国体へ派遣する。
- ・栄養面からのサポートも必要である。

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 準備スケジュール

年度		開催手続	推進体制等
平成30年 (2018)	12年前	開催要望書の提出	
令和元年 (2019)	11年前	内々定	国スポ・障スポ検討懇話会
令和2年 (2020)	10年前	主会場の選定	準備委員会設立 常任委員会の設置 競技力向上対策本部設立
令和3年 (2021)	9年前	競技会場地選定	第1回選手強化対策委員会(5月) 競技力向上対策の取組案について 協議・意見交換 第2回選手強化対策委員会(9月) R4年度競技力向上対策事業等の検討 第2回競技力向上対策本部会議(11月) 第3回選手強化対策委員会(3月) R3年度競技力向上対策事業の評価 R4年度以降の競技力向上対策の取組について
令和4年 (2022)	8年前		各専門委員会 随時設置 今後の会議予定 本部会議(年1~2回) 強化対策委員会(年3回)
令和5年 (2023)	7年前		
令和6年 (2024)	6年前	中央競技団体 正規視察	競技力向上の取組
令和7年 (2025)	5年前	内定 開催申請書提出	
令和8年 (2026)	4年前		
令和9年 (2027)	3年前	決定 会場地総合視察 (日本スポーツ協会・ 文部科学省)	実行委員会発足
令和10年 (2028)	2年前		
令和11年 (2029)	1年前	リハーサル大会	
令和12年 (2030)	開催年	第84回国民スポーツ大会(9月中旬~10月中旬:11日間以内 ※3年前に決定) 第29回全国障害者スポーツ大会(10月中旬~11月上旬:3日間以内)	